



特集

# プランクトンの世界

Focus

長生きで、がんにもならない!?  
ハダカデバネズミの秘密を研究!

標本の世界

魚類の分類学とタイプ標本

真実を見抜く技術!

ビルやブロック塀のコンクリート内部を透視!

科学冒険隊

失敗しない! 水の中の微生物観察

「milsil(ミルシル)」について  
「milsil(ミルシル)」の「mil(ミル)」は「見てみる」「聞いてみる」「やってみる」の「ミル」。そのような「ミル」から、新たな、そして豊かな「sil(シル=知る)」が得られるでしょう。この雑誌とともに、皆様楽しい「ミルシル」体験をされることを願っています。

C O N T E N T S

3 【特集】プランクトンの世界

[全体監修] 辻 彰洋 (国立科学博物館植物研究部菌類・藻類研究グループ研究主幹)

4 プランクトンとは?

辻 彰洋 (国立科学博物館植物研究部菌類・藻類研究グループ研究主幹)

6 赤潮を引き起こすプランクトン

今井 一郎 (北海道大学名誉教授)

9 ガラスの殻をもつ未知のプランクトン

—世界中のフェオダリアと放散虫を調べ尽くす—  
仲村 康秀 (国立科学博物館植物研究部 日本学術振興会特別研究員PD)

12 植物プランクトンの長期モニタリングから見えること

—宍道湖の50年のモニタリングの歩みと成果—  
大谷 修司 (島根大学教育学部教授)

15 プランクトンの形態の様に魅せられた動物学者ヘッケル

相田 吉昭 (宇都宮大学農学部生物資源科学科地質学研究室教授)

18 Focus 科学者の探究心にせまる  
長生きで、がんにもならない!? ハダカデバネズミの秘密を研究!  
ハダカデバネズミの長所をヒトに応用するには  
三浦 恭子 (熊本大学大学院先端機構 / 熊本大学大学院生命科学研究部老化・健康長寿学講座准教授)

22 標本の世界  
魚類の分類学とタイプ標本

萩原 清司 (横須賀市自然・人文博物館 海洋生物学担当学芸員)

24 親子で遊ぼう! 科学冒険隊  
#69 失敗しない! 水の中の微生物観察

辻 彰洋 (国立科学博物館植物研究部菌類・藻類研究グループ研究主幹) 監修

28 真実を見抜く技術! 第3回  
ビルやブロック塀のコンクリート内部を透視!

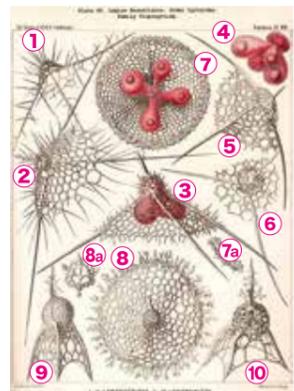
岩田 和彦 (KEYTEC株式会社代表取締役) 取材協力

33 NEWS & TOPICS  
世界の科学ニュース & おもしろニュース

34 milsil カフェ / 次号予告 / 定期購読のお知らせ / 編集後記



たくさんの円筒形の細胞がつながって群体を形成するツノケイソウのなかま(キートケロス属 珪藻)。群体の大きさは約0.4mm。とげのような刺毛は、海面近くで体を浮かせる役割があると考えられています。 写真提供: 辻彰洋



表紙図版

ヘッケルのチャレンジャー号報告書『放散虫類報告』(1887年)の図版(Pl. 60)より。ナセラリア目放散虫の新種個体(ディクテオフィム属の5種: ①~⑤、ラムプロミトラ属の2種: ⑦・⑧、トリボキルティス属の2種: ⑨・⑩)を側面や上下面などのさまざまな方向から観察して描いた標本。赤く見えるのは中心嚢で、見やすくするためにベンガルレッドで染色しています。

特集

# プランクトン の世界

Q: プランクトンでないのはどれかな?

[全体監修] 辻 彰洋  
(国立科学博物館植物研究部菌類・藻類研究グループ研究主幹)

